

第28回 石川県作業療法学会

学会テーマ

地域包括ケア時代の作業療法

学会長

石川県立高松病院 村井千賀

日 時：令和元年6月23日（日） 9時00分～16時50分

会 場：金沢大学医薬保健学域医学類 十全講堂

金沢市宝町13番1号 Tel:076-265-2000

学術相談窓口を今年も開設！

「発表したいけど指導者がおらず難しい…」

「研究を始めたいが手法がわからない…」など

学術的なお悩みに対し担当者がお応えします！

内容に応じて、後日個別の担当者を決定する

など継続した支援も行いますのでお気軽に

ご相談ください！

相談ブース：十全講堂 2F 大会議室

担当者：学術部スタッフ

メールでの相談も随時受け付けています gakujyutsu@ishikawa-ot.com

第 28 回石川県作業療法学会プログラム

	十全講堂 1F ホール	十全講堂 2F 大会議室	医学部記念館 2F プレゼンテーションルーム	十全講堂 ロビー
8:30	受付開始			参加受付 発表受付
9:00	開会式			
9:10 ~ 10:10	一般演題 ADL/IADL	一般演題 連携	9:10~10:40 セミナー1 急性期から終末期に おける作業療法を考える	
10:10 ~ 10:20	休憩	休憩		
10:20 ~ 11:20	一般演題 活動と参加	一般演題 活動報告	休憩	
11:20 ~ 11:30	休憩	学術相談窓口 ドリンクコーナー	10:50~12:20 セミナー2 ライフステージにおける 精神科作業療法を考える	
11:30 ~ 12:20	一般演題 活動報告/就労			
12:20 ~ 13:20	昼休み			
13:20 ~ 14:50	基調講演 地域包括ケア時代の 作業療法			
14:50	休憩			
15:00				
15:20 ~ 16:30	一般演題 臨床事例			15:00~16:30 セミナー3 医療介護連携を考える
16:40~	閉会式			

8:30 受付開始

9:00 開会式

開会宣言	第28回石川県作業療法学会 実行委員長	堀江 翔
県士会長挨拶	(公社)石川県作業療法士会会長	東川 哲朗
学会長挨拶	第28回石川県作業療法学会会長	村井 千賀

会場：十全講堂 1F ホール

一般演題 9:10～10:10 ADL/IADL

座長：恵寿総合病院 五十嵐満哉 石川県立高松病院 横井安芸

01 長座位に着目し、脱臼リスクが高いTHA症例の入浴動作自立を目指したアプローチ

○片山暖菜 中川ひかり 内山由佳
金沢赤十字病院

02 起立困難者に有用な教示内容の検討 ～動作分析を通して～

○三野彩愛 東川哲朗
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

03 独居生活の再構築を目指した症例への関わり

○鈴ヶ嶺文乃
金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター

04 既往の発達障害による四肢麻痺と知的障害を有し脳出血を発症した事例の
ADL獲得に向けた作業療法

○広瀬加奈 東川哲朗
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

05 ADHD児に対し、自己肯定感を高める関わりを行ったことで、普通箸使用が習慣化に至った例

○松本愛花
金沢こども医療福祉センター

06 当苑での排せつ支援チームとしてのOTの関わり

～大腿部ヘルペス後に介助量増大した事例への取り組み～
○石崎昌美代 出雲秀美 中森亨 清水光代 福井朱美 仁八志緒理
介護老人保健施設 和光苑

一般演題 10:20~11:20 活動と参加

座長：城北病院 吉田翔 自宅 上野玲子

07 脳卒中後右片麻痺患者に対する復職を想定した上肢アプローチに着目して

○片山千華 柿崎亜紗奈 坂本佳奈

石川県済生会金沢病院

08 上肢機能回復に関心が高かった事例に母親としての役割再獲得を図った作業療法 ～親子行事参加をきっかけに～

○北村梨紗 東川哲朗

医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

09 女性脳卒中患者の1人暮らしの実現に向けた家事動作の評価と支援

○坂本佳奈 岸谷都(MD)

石川県済生会金沢病院

10 ワレンベルグ症候群を呈した患者を入院中から家庭内役割に導いた作業療法 ～OSA-IIを用いて～

○辻綾乃 東川哲朗

医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

11 パーキンソン病発症後、閉鎖的生活となり交流機会を喪失していたクライアントへの介入

- 意味のある作業と交流経験, サービスの見直しを行い退院後の生活再構築を目指した作業療法-

○田中聡士 東川哲朗

医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

12 基準緩和型通所サービスでの作業活動：主体的な生活活動範囲が拡大した事例報告

○奥村美稀 霜下和也 村田明代 堀田陽平 中村英史

芦城クリニック

一般演題 11:30~12:20 活動報告/就労

座長：金沢リハビリテーションアカデミー 種本美雪

訪問看護・リハビリステーション リハス 森田満美子

13 精神科病院の重度かつ慢性病棟における作業療法士の活躍

○西村優 横井安芸 村井千賀 木谷知一

石川県立高松病院

14 OT教育でMTDLPを用いた4年間の経過報告

○林美樹¹⁾ 合歓垣洸一¹⁾ 石田真希¹⁾ 合歓垣紗耶香²⁾

1) 医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

2) 社会福祉法人 陽翠水 共生型福祉施設 G-Hills デイサービス零

15 介護保険通所リハビリから就労継続支援B型事業所へと結びついたケース
～他機関多職種との連携を通して～

○五十嵐満哉¹⁾ 鎌口里子(CM)²⁾ 諏訪勝志(CM・PT)³⁾ 川上直子¹⁾ 川北慎一郎(MD)¹⁾

- 1) 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
- 2) 中能登町社会福祉協議会 居宅介護支援センター
- 3) 社会医療法人財団董仙会 在宅複合施設ほのぼの

16 社会参加再開に関わる訪問作業療法の役割

～就労支援事業A型の開始直後一時的失業に陥った事例を通して～

○中森清孝^{1,2)} 今井啓介^{1,2)} 小田中明美(Ns)²⁾ 木埜下恵(Ns)²⁾

- 1) 介護老人保健施設加賀のぞみ園
- 2) 訪問看護ステーション加賀

17 挑戦！社長らしい生き様を支える 在宅ALS患者の支援の一例

○里出昌輝

訪問看護・リハビリステーション リハス

13:20～14:50 基調講演

「地域包括ケア時代の作業療法」

司会 金沢脳神経外科病院 東川哲朗

講師 学会長 石川県立高松病院 村井千賀

一般演題 15:20～16:30 臨床事例

座長：金沢大学 医薬保健研究域保健学系 柴田克之 金沢医科大学病院 伊関浩克

**18 疼痛に対する教育的介入を行ったことで運動療法や自主訓練が効果的に進んだ
脳卒中後片麻痺患者の一例**

○高木満帆¹⁾ 小池隆行²⁾ 大村衡史¹⁾

1) 医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院

2) 公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院

19 右視床梗塞により左片麻痺・注意障害を呈した症例の在宅復帰に向けた取り組み

○多長楓佳¹⁾ 合歓垣洸一²⁾

1) 社会福祉法人 陽翠水 介護老人保健施設 陽翠の里

2) 医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

20 化学療法中の乳癌骨転移患者に対する作業療法～自宅生活を目指した症例～

○吉田翔

公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院

21 倦怠感の強い人工透析患者に対する作業療法経験

-実際に湯をはった浴槽での入浴練習により訪問看護の利用を決断した一例-

○中野行賢¹⁾ 山田ともみ¹⁾ 高枝正芳(MD)²⁾ 寺島瀬里奈(Ns)³⁾ 安藤弘子(MSW)⁴⁾
中きみ子(CM)⁵⁾

1) 国民健康保険能美市立病院 リハビリテーション科

2) 国民健康保険能美市立病院 内科

3) 国民健康保険能美市立病院 看護部

4) 国民健康保険能美市立病院 地域医療連携室

5) 国民健康保険能美市立病院 居宅介護支援事業所

22 自傷行為が顕著な児に感覚統合療法的視点での介入を行い自傷行為が軽減した一事例

○安本大樹

金沢こども医療福祉センター

23 統合失調症者のピアサポーター養成に向けた支援

- ‘ひきこもり’ から大学生活そしてピアサポーターへ -

○大西真澄美 横井安芸 村井千賀

石川県立高松病院

**24 一人暮らしの継続を希望する認知症患者の生活支援と家族の受け入れに対するアプローチ
～これまでの生活習慣と自発性に注目して～**

○寺嶋翔子¹⁾ 菊池ゆひ²⁾ 米田貢²⁾

1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部

2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系

会場：十全講堂 2F 大会議室

一般演題 9:10～10:10 連携

座長：金沢福祉用具情報プラザ 本田優介 片山津温泉・丘の上病院 西村幸盛

25 患者・家族の意志を反映させる事で、他職種との方針の相違を同一にできた症例

○蟹由理紗子 東川哲朗

医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

26 末期膀胱癌のため、腎瘻増設した患者のウロバック管理自立に向けた多職種での介入

○田家澤菜実¹⁾ 合歓垣紗耶香²⁾ 石田真希¹⁾ 合歓垣洗一¹⁾

1) 医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

2) 社会福祉法人 陽翠水 共生型福祉施設 G-Hills デイサービス零

27 情報共有・連携の見直し ～ふいらーじゅ事業所間同職種から多職種連携～

○西谷すずな¹⁾ 中村恵子¹⁾ 酒井克典(PT)¹⁾ 野口志織¹⁾ 前田真由美¹⁾
板橋悠一郎(PT)²⁾ 千田雅子²⁾

1) 介護老人保健施設 ふいらーじゅ

2) 特別養護老人ホーム ふいらーじゅ

28 通所リハから通所介護への移行支援の一例

～認知症高齢者への理解と関わりのヒントを家族と他職種で共有する取り組み～

○明福真理子 買手登美子 加藤恵子 金浦美喜(CW) 河合克弘(MD)

能美市介護老人保健施設 はまなすの丘

29 家族、他機関と連携し、双極性障害患者の希望の実現を支援してー就労、結婚、その先へー

○坂下美加代 岩尾竜一

小松市民病院

一般演題 10:20～11:20 活動報告

座長：共生型福祉施設 G-Hills デイサービス零 合歓垣紗耶香

地域医療機能推進機構 金沢病院 越田雄

30 MTDLP 事例検討会における参加者と発表者の動向について

○渡邊貴之

公立つるぎ病院

31 作業療法職業体験（なごやか作業療法セミナー）の活動報告

～中高生が患者さんとの関わりから得たコミュニケーションと働くことへの大切さ～

○杉中菜子^{1,4)} 宮腰真^{1,4)} 柳内百合香^{1,4)} 米田 美登里^{1,4)} 小池 隆行^{2,4)}
菊池ゆひ^{3,4)} 米田貢^{3,4)}

- 1) 地域医療機能推進機構 金沢病院
- 2) 石川勤労者医療協会 城北病院
- 3) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系
- 4) 石川県作業療法士会 事業部

32 当院における風船バレーボール大会再参加への取り組み

○平田純 東川哲朗 坂井由衣
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

33 安心して暮らせる社会の実現（金沢市）を目指した提案

～金沢市障害者施策推進協議会における作業療法士の役割～

○高多真裕美 東川哲朗
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院

34 精神障害者が就労支援施設で働くために - 事業所との意見交換会の実施 -

○坂上千里 横井安芸 村井千賀 木谷知一(MD)
石川県立高松病院

35 志賀町での地域リハビリテーション活動支援事業報告

～高齢化率の異なる住民通いの場に携わって～

○加藤孝之¹⁾ 酒井祥代(PHN)²⁾

- 1) 町立富来病院
- 2) 志賀町役場 健康福祉課 地域包括支援センター

会場：医学部記念館 2F プレゼンテーションルーム

セミナー1 9:10~10:40 急性期から終末期における作業療法を考える

座長：石川県立中央病院 千田茂 金沢大学附属病院 堀江翔

指定演題1

手術室，超急性期での作業療法士の役割 ―当院での取り組み―

○堀江翔¹⁾ 仁木裕也¹⁾ 中嶋理帆²⁾ 小林亜里沙¹⁾ 西悦子¹⁾ 麦井直樹¹⁾
多田薫(MD)³⁾ 八幡徹太郎(MD)⁴⁾

1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部

2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系

3) 金沢大学医薬保健研究域医学系

4) 金沢大学附属病院 リハビリテーション科

指定演題2

自宅退院が困難な多発性骨髄腫患者への終末期の外泊支援・家族との関わり

○川上直子 白山真由子 川北慎一郎(MD)

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院

指定演題3

主体的な作業活動を獲得したことで落ち着いた療養生活を送った呼吸器ターミナル患者の一例

○横山美香

千木病院

セミナー2 10:50~12:20 ライフステージにおける精神科作業療法を考える

座長：石川県立高松病院 大西真澄美 金沢大学 医薬保健研究域保健学系 菊池ゆひ

指定演題4

精神科救急病棟における若者を対象とした包括的支援マネジメントの取り組み

- アセスメントから就労支援まで -

○横井安芸

石川県立高松病院

指定演題5

仕事を継続しながら地域で暮らすための作業療法士のかかわり

～作業療法士が地域で活動することについての考察～

○今井透

公立能登総合病院 リハビリテーション部

指定演題6

高校中退から福祉サービスを利用し、一般就職を目指す症例

○中川紗佑里

放課後等デイサービス「ゆしゃ」

セミナー3 15:00～16:30 医療介護連携を考える

座長：芦城クリニック 村田明代

介護老人保健施設加賀のぞみ園・訪問看護ステーション加賀 中森清孝

指定演題7

胸椎圧迫骨折を受傷した認知機能低下のある患者の独居生活再開へ向けて
～地域包括ケア病棟での多職種連携～

○石田真希

医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

指定演題8

病院併設の通所リハビリテーションでの強みを活かした支援

○市川翔悟 水口健史 東実紀

河北中央病院

指定演題9

通所・訪問リハビリの特色を活かした作業療法によりサービス付き高齢者向け住宅から
定期的な自宅外泊が可能になった事例

○今井啓介^{1,2)} 中森清孝²⁾ 木ノ下優子(CW)¹⁾ 山村智江(NS)²⁾

1) 介護老人保健施設 加賀のぞみ園 通所リハビリテーション

2) 訪問看護ステーション加賀

16:40 閉会式

学会長奨励賞表彰, 閉会宣言

会費 石川県作業療法士会員・・・4000円	協会員・他県士会員・・・4000円
他職種・県士会非会員・・・5000円	協会非会員・・・8000円
学生・・・・・・・・・・・・・無料	